平成26年度　北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査記述式検査問題用紙

（注　意）

1　検査時間は60分です。

2　質問がある場合は挙手すること。
　ただし、問題の内容や答えの書き方についての質問には応じられません。

3　解答は、解答用紙に記入すること。

4　解答用紙に受検番号、氏名を必ず記入すること。

受検区分	教　科	科　目
中　学　校 特別支援学校中学部	音　楽	

第１問　音楽科の学習指導について、問１、問２に答えなさい。

中学校第２学年音楽科学習指導案（略案）

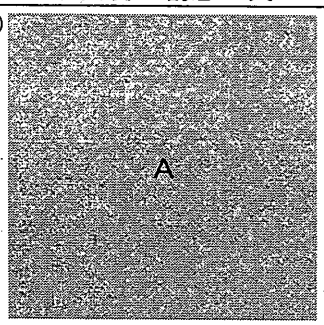
１　題材名　　歌詞の内容や曲想を味わって歌おう

２　題材の目標

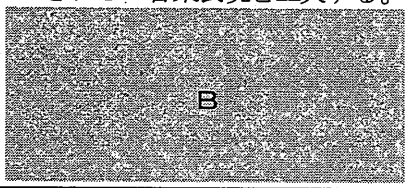
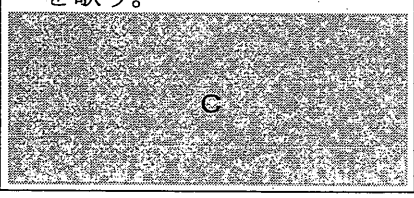
「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいを生かし、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫して歌うことができる。

３　題材で指導すべき〔共通事項〕　ア　リズム（拍子）、速度、強弱、旋律（音のつながり方、フレーズ）

４　評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
①「早春賦」の歌詞が表す情景や心情、曲の表情や味わいに関心をもっている。 ②歌詞が表す情景や心情、曲の表情や味わいを生かし、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	① 	①「早春賦」の歌詞が表す情景や心情、曲の表情や味わいを生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な、発声、日本語の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

５　題材の指導と評価の計画（３時間）

時	単位時間の目標	○主な学習内容 ・主な学習活動	■評価規準 （評価方法）
１	「早春賦」の歌詞が表す情景や心情、曲の表情や味わいに関心をもつことができる。	○　「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもつ。 ・歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいを感じ取りながら、「早春賦」を聴いたり歌ったりする。 ・感じ取ったことをワークシートに記入し、交流する。	■音楽への関心・意欲・態度① （観察） （ワークシート）
２	「早春賦」のリズム（拍子）、速度、旋律（音のつながり方、フレーズ）、強弱などの特徴を意識して、音楽表現を創意工夫することができる。	○　「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいを感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫する。 	■音楽表現の創意工夫① （観察） （ワークシート）
３	「早春賦」の歌詞が表す情景や心情、曲の表情や味わいを生かして、曲にふさわしい音楽表現で歌うことができる。	○　曲にふさわしい音楽表現を工夫し、それに必要な技能を身に付けて「早春賦」を歌う。 	■音楽表現の技能① （演奏） ■音楽への関心・意欲・態度② （観察） （ワークシート）

問１　「題材の目標」や「評価規準に盛り込むべき事項」を参考にして、Ａに当てはまる「評価規準」を書きなさい。

「評価規準に盛り込むべき事項」

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
歌詞の内容や曲想、曲種に応じた発声や言葉の特性、声部の役割と全体の響きとの関わりなどに関心をもち、それらを生かし曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わう、曲種に応じた発声や言葉の特性を理解する、声部の役割と全体の響きとの関わりを理解するなどして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	創意工夫を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。

評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校　音楽】（平成23年11月）

問２　Ｂ、Ｃそれぞれに当てはまる「主な学習活動」を書きなさい。

第２問　音楽科の学習指導について、問１、問２に答えなさい。

中学校第３学年音楽科学習指導案（略案）

１　題材名　コード進行を手掛かりにして旋律をつくろう

２　題材の目標

コード進行を基にしてアルト・リコーダーで旋律をつくることができる。

３　題材で指導すべき〔共通事項〕　ア　旋律

イ　和音

４　評価規準　省略

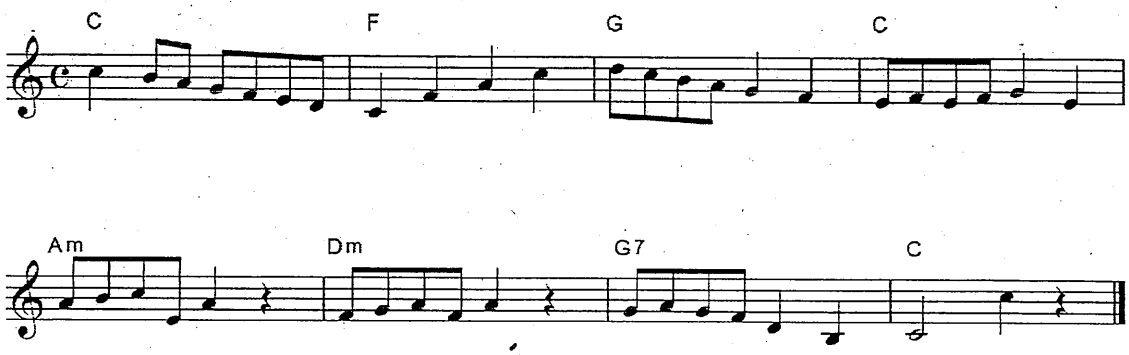
５　題材の指導と評価の計画（３時間）

時	単位時間の目標	○主な学習内容・主な学習活動	■評価規準（評価方法）
1	コード進行を基に自分のイメージに合う旋律をつくる学習に関心をもち、主体的に取り組むことができる。	省	省
2	自分のイメージに合う音楽表現を工夫し、どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもち、創作することができる。		
3	創作した旋律を発表し合い、音楽表現のよさや旋律をつくることの楽しさを共有することができる。	略	略

＜第２時において生徒が創作した旋律＞

【旋律のイメージ】

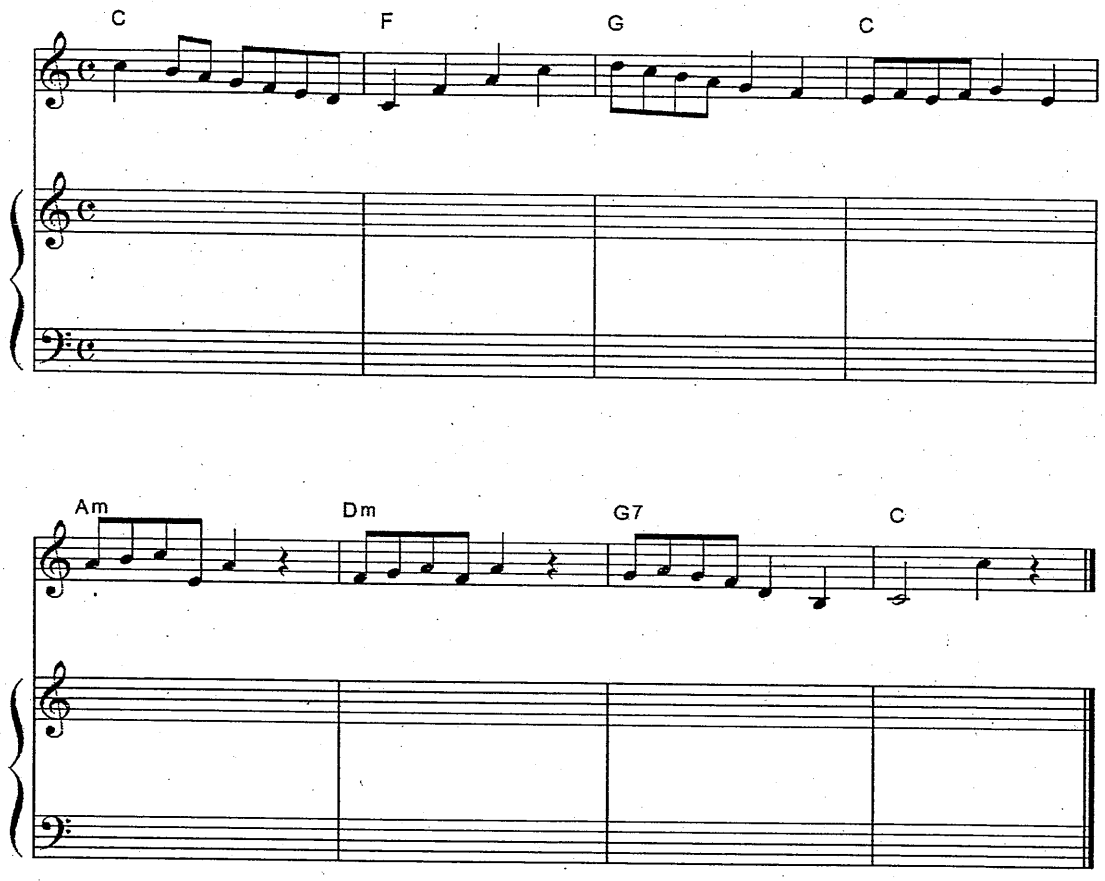
「夜空に輝く流れ星」



問１　第２時の学習で生徒が創作した旋律にふさわしい、ピアノ伴奏を作成しなさい。ただし、コード進行は、楽譜に示されているとおりとします。

【旋律のイメージ】

「夜空に輝く流れ星」



問２　第２時において生徒が創作した旋律を、原調のとおりアルト・サクソフォーンで演奏することができるよう移調しなさい。

受検番号	氏　　名

受検区分	教　　科	科　　目
中学校 特別支援学校中学部	音　　楽	

平成26年度　北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査記述式検査解答用紙

第１問

問１

A

問２

B

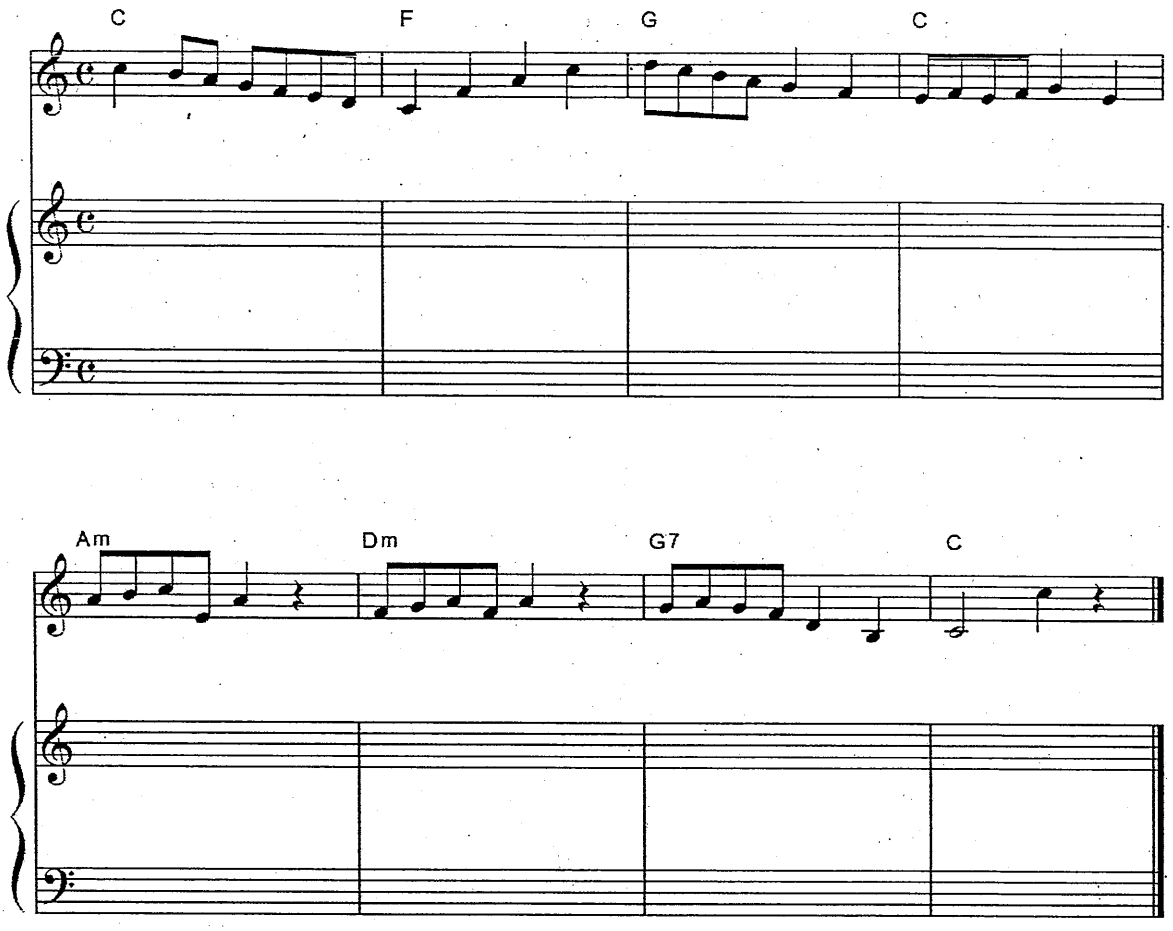
C

第２問

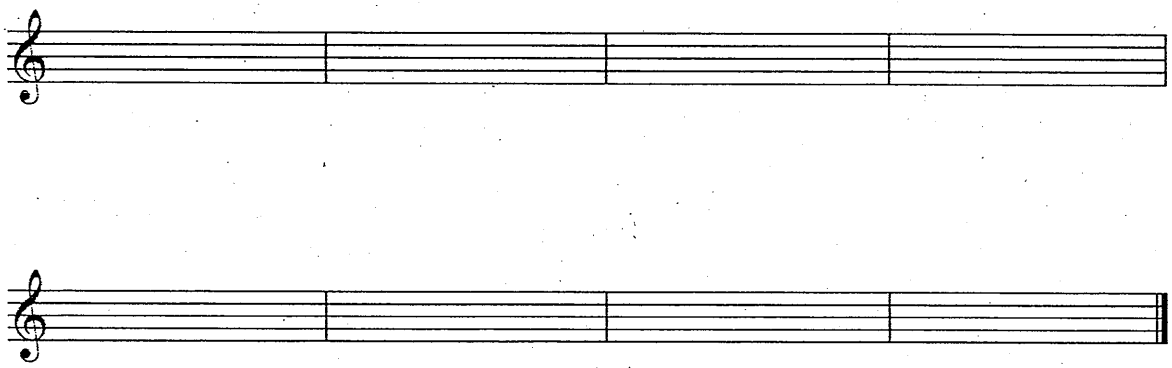
問１

【旋律のイメージ】

「夜空に輝く流れ星」



問２



平成２６年度　北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査教科等指導法検査評価基準

受検区分	教　科	科　目
中　学　校 特別支援学校中学部	音　楽	

問題番号	評価観点
第１問	音楽科の学習指導の歌唱の指導において、題材の目標を踏まえて、評価規準を設定したり、題材の指導計画を立てたりすることができる。
第２問	音楽科の学習指導の創作及び器楽の指導において、生徒が興味・関心をもつことができるよう、生徒が創作した旋律にふさわしいピアノ伴奏を付けたり、生徒が自分の好きな楽器で主体的に活動することができるよう、楽譜を移調したりできる。

□　評価基準

評価の基準を設問別に「A」、「C」、「E」に分けて示すと、次のようになります。
なお、「B」、「D」については、この中間に位置するものとします。

「A」は、観点を的確に捉えている。
「C」は、観点の一部を捉えている。
「E」は、観点を全く捉えていない。